

霧島屋久国立公園

指宿地区の利用者に自然を解説しマナーを守って頂く取り組み

指宿地区自然保護ボランティア協議会

代表 上野 義光

鹿児島県

1.はじめに

知林ヶ島(指宿市)は、鹿児島湾(錦江湾)に浮かぶ、周囲約3Km、面積60ha、最高点90mの無人島である。

約30年前までは人が住み、無霜地帯であることから、ジャガイモやサツマイモ、ナタネなどが植えられ、常に豊富な収穫量を誇り「宝の島」と言われた。

3月から10月にかけての大潮又は中潮の干潮時には、長さ約800mの砂州(砂の道)が出現し、歩いて渡ることができる。

平成21年3月、島内には遊歩道や展望台が整備され島の自然にふれあうことができ、環境省の「かおり風景100選」にも認定されている。

知林ヶ島の対岸にある魚見岳は標高215mの小山であり山頂直下まで車で登れます。山頂周辺は、魚見岳自然公園となっており、駐車場や展望台などがあり、桜、つつじ、ヤブツバキなど、四季の花が美しい所である。

展望台からの眺めは素晴らしく、桜島や開聞岳、遠くは霧島連山、佐多岬などの山々と眼下の知林ヶ島、指宿市街地などが望める。

尚、知林ヶ島も魚見岳も霧島屋久国立公園に指定されている。



背景

知林ヶ島は無人島となって約30年もの間に畑や道だったところも竹などに被われ、人が訪れることはほとんどなかったが、平成20年度の環境省の直轄事業で遊歩道や展望台が整備され、歩いて砂州を渡り島内の自然を散策する利用者が急増し（下表）指宿市の観光に大きく寄与する一方、利用者増加で島の自然が荒れることを心配する声もあった。

指宿地区ボランティア協議会は、霧島屋久国立公園錦江湾地区で自然解説、国立公園利用者へマナーの指導、美化清掃などを行う「鹿児島地区パークボランティアの会」と指宿市などの行政機関で、知林ヶ島や魚見岳の自然や利用のマナーを解説するためのイラストマップを作成するために構成した。

知林ヶ島への渡島者数（年間）

年度	利用者数	備考
18年度	13,181	
19年度	10,786	
20年度	16,268	整備工事中
21年度	29,627	4月オープン

2009年4月11日オープンセレモニー
当日渡島者の写真



※遊歩道が整備されるまでは、島を渡りきった砂浜までの利用者

2、活動概要

(1) 調査

パークボランティアでは、知林ヶ島での自然解説活動を活動の重点事項と決め、イラストマップを作成するために、遊歩道の工事中に作業員を運ぶ船に同乗させてもらい、工事のじやまにならないよう島の動植物の調査を行った。

又、毎月1回程度、砂州を渡れる日には知林ヶ島の自然観察会をかねて、植物の名前や花、実の調査に誤りは無いか、確認を何回も行う。（下表）

調査日	調査員	写真 NO,	調査日	調査員	写真 NO,
2009, 1, 6,	2名	16	2009, 7, 20,	4名	19
2, 12,	4名	1. 10.	8, 2,	3名	3~6. 8. 9. 11. 12
3, 29,	4名	2.	9, 5	5名	20
5, 30	5名	17	10, 4	3名	21.
6, 21	5名	18			

(2) イラストマップ作成

調査した結果、遊歩道沿いで見られる動植物が主に見られる場所をイラストマップに表示し、裏には写真を掲載し、知林ヶ島運営協議会で島内でのマナーをとりまとめ、決定した「知林ヶ島憲章」を掲載することとし、1,000部印刷し利用者に配布して島の自然やマナーの普及に努めたい。

3、普及啓発活動の実施

知林ヶ島 遊歩道自然観察会、や貝類の自然観察会・山菜クッキング、美化活動、田良浜周辺自然観察会・休暇村指宿周辺野鳥観察会等の実施に併せ普及啓発活動として知林ヶ島・魚見岳の自然マップを作成し、自然観察会の参加者などに配布し絶滅危惧種等の保護活動など理解を深める材料とした。

尚、マップの配布に際しては T a K a R a ハーモニストファンドの助成金を活用している旨をPRした。

4、活動方法

1) 自然観察会の実施

新聞等を活用し広報の実施に努めた。参加者を募り傷害保険をかけて観察会を実施。当日は集合場所としてエコキャンプ場管理棟前や、「休暇村指宿」駐車場を提供していただいた。

2) 活動結果 自然観察会（イラストマップ配布）

実施日	参加者配布数	備考
2010. 1.30.	20 枚	植物研究会
2010. 2.14.	9 枚	野鳥観察会 写真 No.22, 23
2010. 3.28.	15 枚	山菜クッキング、田良浜自然観察会 写真 No.24, 25
2010. 5.29.	45 枚	知林ヶ島遊歩道自然観察会 写真 No.26

5、考 察

国立公園の自然の紹介や解説・島でのマナーなど今までより内容の濃い活動ができたと考えています。

調査活動については、1 月～10 月までの調査で、樹木では落葉樹、常緑樹・花が付くもの、実のなる植物等、遊歩道にそっての植生や冬鳥・夏鳥など把握できたこと、島の歴史に蛇塚は欠かせない塚であることなど、把握できたことは、大きな成果であった。

6、今後の課題

今後も引き続き、田良浜周辺や知林ヶ島、島内の利用者に自然を解説しマナーを守ってもらうために、ボランティア等による指導や利用者への周知を行い、国立公園の自然が次世代に残されるように努めていきたいと考えている。

7、終わりに

知林ヶ島の自然・魚見岳の自然・田良岬（休暇村指宿）の自然など、イラストマップ作成により島でのマナーなど内容の濃い活動ができたことは、TaKaRa ハーモニストファンドの助成を受けることができたことによるものです。お礼申し上げる次第である。

NO. 1

野鳥や植物調査



NO. 2

島内観察会所要時間調査



NO. 3

田良岬、植物調査



NO, 4

砂州中央400メートル付近



NO, 5

知林ヶ島側にて貝ガラ調査



NO,6

南展望台への登り階段付近



NO.7

南展望台



NO. 8

植物調査



NO. 9

植物調査、休憩所前付近



NO. 10

休憩所



NO. 11

休憩所付近。灯台方向へ
植物調査・確認



NO. 12

灯台付近・植物調査・確認



NO,13

灯台



NO.14

北展望台



NO. 15

蛇塚へ

(クワズイモ)



NO. 16

蛇塚



NO. 17

魚見岳で野植物調査



NO.18

南展望台付近で
樹木調査確認



NO. 19

貝の観察と植物調査
確認



NO.20

植物観察と確認



N.O. 21

ハマセンダン前で
植物確認と観察会
時間配分確認



NO. 22

休暇村指宿駐車場前

野鳥観察会



NO. 23

野鳥観察と調査



NO.24

山菜クッキング



NO.25

田良岬周辺観察会



NO. 26

知林ヶ島遊歩道での
自然観察会



NO.27

マップ検討会
休暇村指宿会議室



NO.28

二回目のマップ
検討会



NO. 29

鹿児島でのマップ
検討会



NO.30

休暇村指宿でマップ
最終打ち合わせ



NO.31

オープンセレモニー
観察会へ



NO.32

観察会にて
休憩所付近で食事中



NO.33

観察会参加者は
潮のかわりと風景を
体で体感



NO. 34

観察会受付風景



NO.35

観察会にてマップにより
公園マナー等の解説

